

# あやとり

あやとりは、介護サービス利用者と介護相談室を結ぶものです。  
介護認定を受けている方に送付しております。

第 51 号

発行；那須塩原市介護  
サービス相談機関  
「介護相談室」  
発行日；2013年  
9月25日



## 那須塩原市の生乳産出額は本州で一番

市内の乳用牛は2万3500頭、肉用牛は5400頭が飼育されています。戦後、那須の地は開拓の人達の手作業で開墾され、やせた土地には農作物が育たなく、そこで肥料と労力を兼ねて牛を育てたと開拓でご苦労された利用者さんからお聞きしました。今は引退され代を譲り、デイスサービスや施設を楽しく利用されている方が多いです。酪農家の皆さんが愛情を注いで育てられた乳牛から生産される牛乳は、コクがあり、とても美味しいと評判で全国で愛飲されています。

わが街の自慢でもあり、誇りですね

〓 みんなで飲もうー牛乳〓



# あやとり

第 52 号

発行；那須塩原市介護  
サービス相談機関  
「介護相談室」

発行日；2013年  
12月25日

あやとりは、介護サービス利用者と介護相談室を結ぶものです。  
介護認定を受けている方に送付しております。



季刊誌『あやとり』の発刊にあたって

那須塩原市長 阿久津憲二

「あやとり」読者の皆様こんにちは。私が市政をお預かりしてから三年目を迎えようとしておりますが改めてその重責を感じているところでございます。

さて、介護を社会全体で支え合う制度として介護保険が始まってから十三年が経過しました。時を同じくして本市の介護サービス相談員制度が始まり、現在も相談員が施設や在宅訪問を通して介護に関する相談に応じ、行政や介護施設への橋渡し役を担ってもらっております。また、季刊誌「あやとり」を発刊し、介護に関する情報の発信に努めている事は、大変意義深い事と思っております。

現在、本市におきましても、高齢化率は年々上昇していることから、市民の皆様が必要とする介護基盤、環境作りが市の責務と考え真摯に公務に取り組んでまいります。

おわりに、読者の皆様の御健康と御長寿を祈念いたします。ご挨拶いたします。



# あやとり

第 53 号

発行；那須塩原市介護  
サービス相談機関  
「介護相談室」  
発行日；2014年  
3月25日

あやとりは、介護サービス利用者と介護相談室を結ぶものです。  
介護認定を受けている方に送付しております。

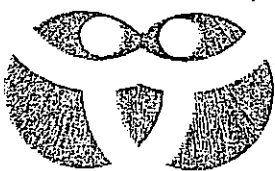


## 栃木県で「ねんりんピック（全国健康福祉祭）」

本年十月に、六十歳以上の高齢者を中心とする各種スポーツ競技や文化イベント、健康福祉機器展等の総合的な祭典「ねんりんピック栃木2014」が開催されます。この祭典には全国から約一万人の選手役員が来県することから、「高齢者の国体」とも言われており、県内の二十市町で開催されます。ソフトテニス競技の開催地である那須塩原市には七十チーム、六百三十人の選手が集い、熱戦を繰り広げます。

介護施設でもふれあいを大切に、体を動かしたり絵・書・手芸・その他、色々なことに取り組んでいます。発表の場も設けたり、この「あやとり」にも投稿して頂いたりしています。興味、趣味を活かし人生を大いに楽しみましょう。

### シンボルマーク



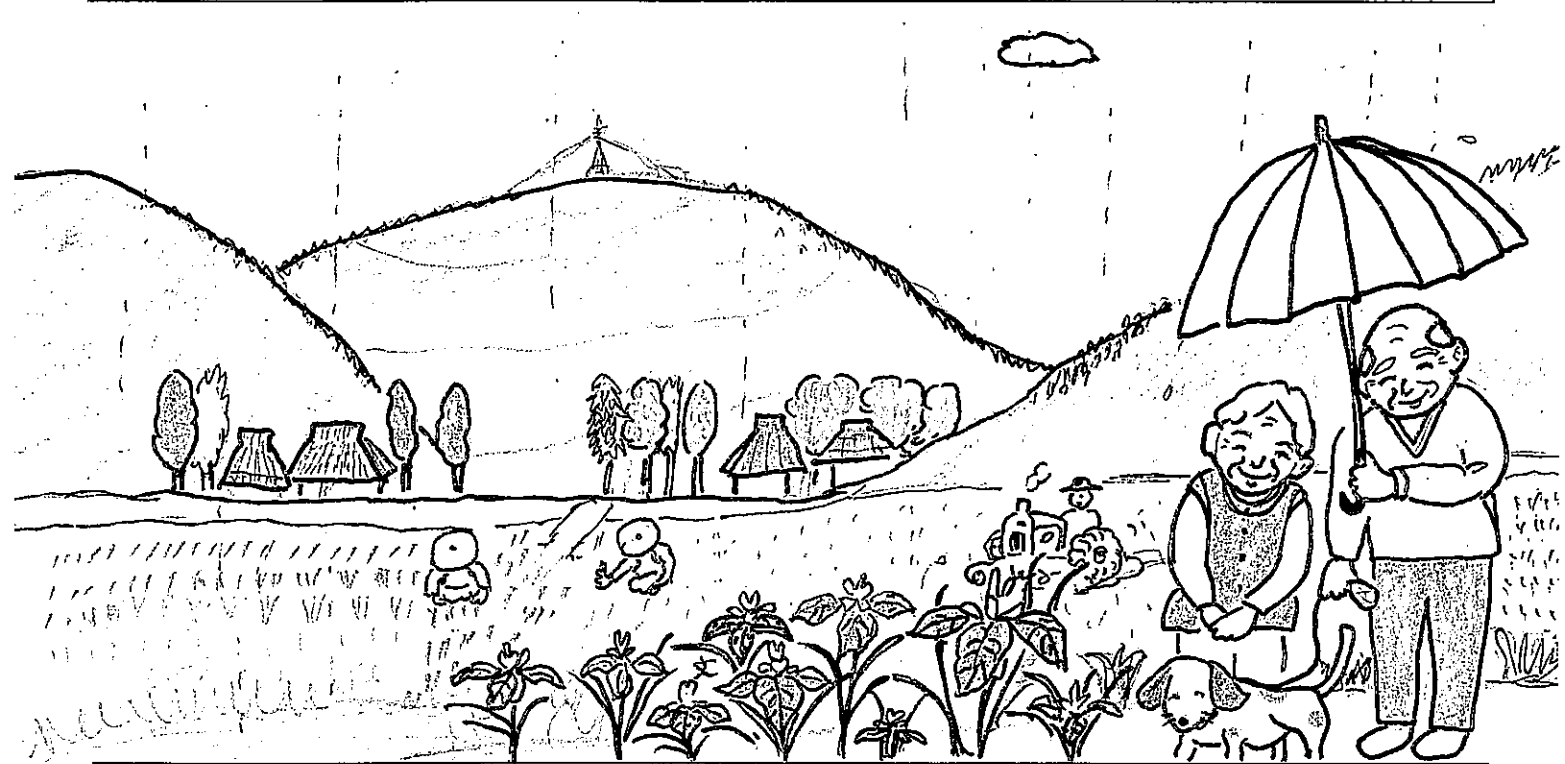
老いも若きも仲よく、共に生きていく社会を二人の人物で表しています。二つの円は、組み合わせにより、お互いに助け合い、健康と福祉の輪が未来に向かって広がっていくことを意味しています。

# あやとり

あやとりは、介護サービス利用者と介護相談室を結ぶものです。  
介護認定を受けている方に送付しております。

第54号

発行；那須塩原市介護  
サービス相談機関  
「介護相談室」  
発行日；2014年  
6月25日



## 「水無月の風物詩」

六月は旧暦で水無月と呼ばれていました。  
雨が沢山降る季節なのに、水無月って変だなと思  
いますよね。

水無月の由来には諸説があり、梅雨が明け  
水が涸れて無くなる月。

他に田植えという大仕事を終えた月「皆仕尽」  
(みなしつき)の説などが有力です。

青葉の繁る時季から青水無月とも称されます。



今から五、六十年も前になるでしょうか。  
紺緋(こんがすり)に赤いたすき姿で田植えをす  
る女性達は、早乙女さんと呼ばれていました。

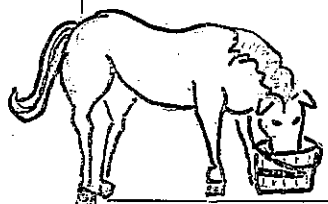
(昔の早乙女だった方のお話)

もうとつくの昔、馬は大事な働き手で、一緒の家  
に寝起きをともししていた家族の一員だった。

亡くなった主人が代掻きの鼻取(はなどり)を  
自分は後ろから馬鋏(まんが)押しをしたよ。

三位一体の当時の様子を生き生きとした表情  
で話してくれました。

\*語り継ぎたい風物詩です\*

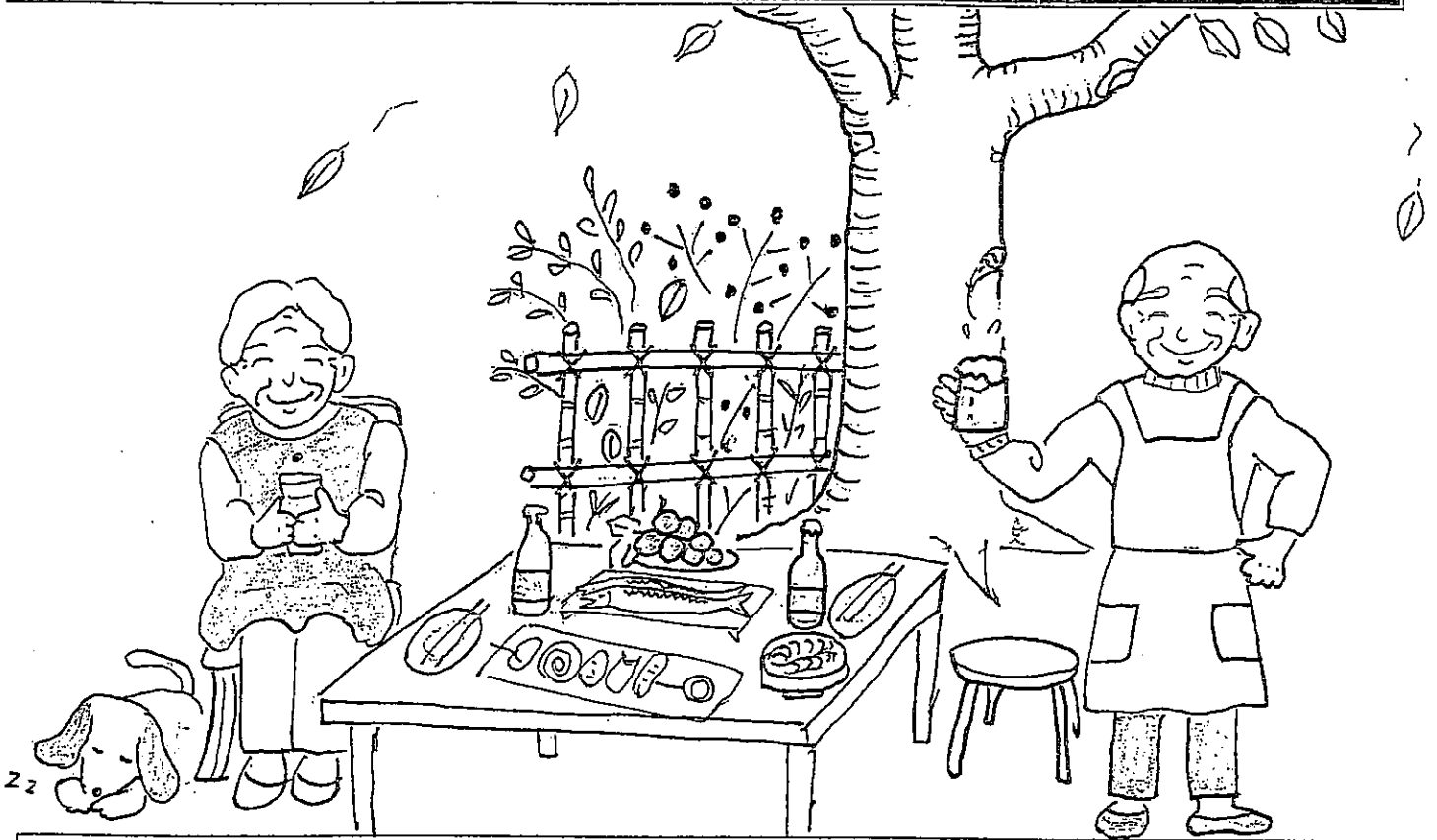


# あやとり

あやとりは、介護サービス利用者と介護相談室を結ぶものです。  
介護認定を受けている方に送付しております。

第55号

発行；那須塩原市介護  
サービス相談機関  
「介護相談室」  
発行日；2014年  
9月25日



## 介護相談室の歩み

平成十二年、介護相談員活動のスタート時、旧黒磯市では「利用者保護とサービスの質の向上」を目的に八名の相談員が誕生し「橋渡し役」として、九施設と在宅への訪問を始めました。

那須塩原市になった今では、介護保険を理解し自分に合った介護サービスを上手に利用している方々も増えています。

最近では利用者の皆さんや施設職員さんからも相談員に声を掛けて頂けるようになり、時には「あやとりさん」と呼んでもらえるようになりました。

現在、七十施設、八十三か所を訪問し、また在宅訪問も続けています。

新しい施設も増える中、今年も四名の相談員が加わり、十五名となりました。

今後は在宅への訪問を増やし、在宅介護中の家族の方の声等も伺いたいと思っています。これからも宜しくお願い致します。



くーちゃん

# あやとり

第56号

発行；那須塩原市介護  
サービス相談機関  
「介護相談室」  
発行日；2014年  
12月25日

あやとりは、介護サービス利用者と介護相談室を結ぶものです。  
介護認定を受けている方に送付しております。



オレンジリングをご存知ですか？

日頃、介護相談員が各施設やご自宅を訪問する際、オレンジ色のリングを着けていますが、お気づきでしたか？

オレンジリングは認知症サポーター養成講座を終了し、認知症サポーターとなった人の「目印」です。

認知症サポーターは、認知症について正しい知識を持ち、認知症の方やご家族を見守る応援者です。

先頃、認知症サミットG7が東京で開催された際も日本の認知症サポーターの活動が高く評価されました。

現在、病院はもちろんスーパー、学校、駅、乗り物など、どこへ行っても認知症を理解し手助けしてくれる人たちが増えています。

最近では小、中、高校生にも認知症サポーターが誕生し、デイ利用者の皆さんから、「勉強したい」と言う声も寄せられています。企業などにも出向いて講座を実施しているので、市役所の高齢福祉課へお問い合わせください。

那須塩原市は認知症になっても、安心して暮らせるまちづくりを目指しています。



〇八路長

# あやとり

あやとりは、介護サービス利用者と介護相談室を結ぶものです。  
介護認定を受けている方に送付しております。

第57号

発行；那須塩原市介護  
サービス相談機関  
「介護相談室」  
発行日；2015年  
3月25日



## 市誕生十周年と相談室の歩み

今年、那須塩原市は合併から十年を迎えました。県内の合併第一号であり、昨年の住みよきランキング（東洋経済新報社実施）においても県内一位に選ばれる等、日頃の取り組みの成果が、赤ちゃんから高齢者にも安心して暮らせる街づくりにつながっています。

平成十二年に介護保険制度が始まり、同時に介護サービス相談員も誕生しました。

合併後は訪問も拡大され、今では十五名の相談員が利用者さんや事業所、行政への橋渡し役として活動しております。

「あやとり」も今回で、五七号の発刊となります。利用者さんや事業所の職員の方々には毎回、作品等の提供に快く応じて頂き、感謝しております。

介護保険制度は十五年の間、改正を重ねる新年度は第六期那須塩原市高齢者福祉計画もスタートします。

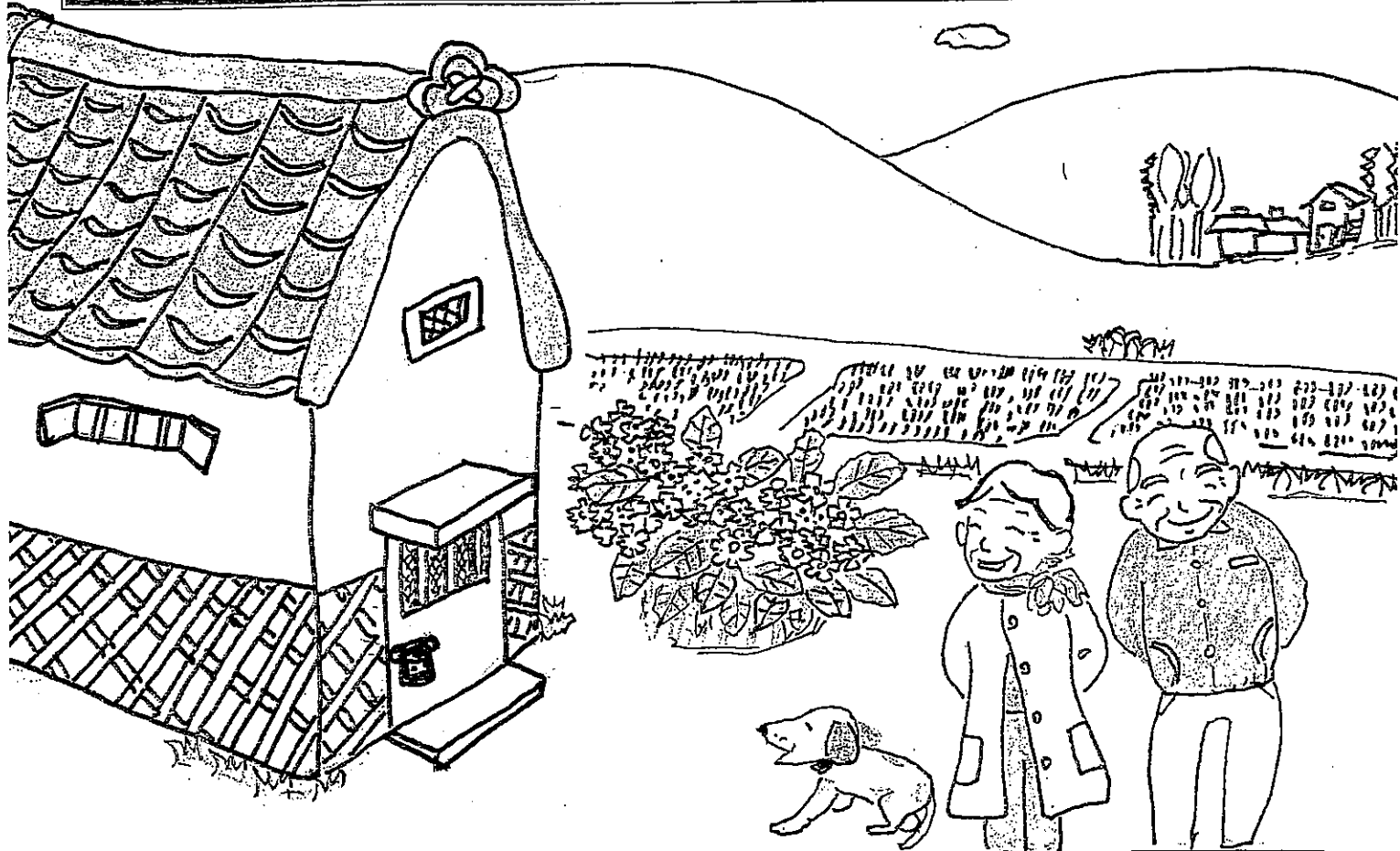
より身近に、きめ細かい介護サービスが受けられますように今後は在宅訪問も拡大し、介護保険の更なる充実と安心を目指してまいります。



# あやとり

発行；那須塩原市介護  
サービス相談機関  
「介護サービス相談室」  
発行日；2015年  
6月25日

あやとりは、介護サービス利用者と介護相談室を結ぶ季刊紙です。



## 温泉のまち 那須塩原市

那須塩原市には塩原温泉、板室温泉があり、近隣には那須湯本温泉等多くの温泉に恵まれています。

○板室温泉―一〇五九年開湯。杖使用の湯治客も湯治後は杖を忘れる程回復した為、「杖いらずの湯」とも呼ばれています。

板室温泉神社に参拝した折に不用になった杖を置いて行くのが慣習だったそうです。

○塩原温泉―千年以上の歴史を持つ温泉郷で、古くから塩原十一湯と呼ばれています。

町の共同浴場を利用していた住民の各家庭にも温泉が引かれ、産湯が温泉だったという恵まれた人も多いそうです。

四月一日から黒磯、西那須野、塩原の三つの観光協会と行政で市観光局を設立し、「観光都市なすしおばら」の実現を目指しています。素晴らしい温泉のまち那須塩原市により多くの観光客が訪れると良いですね。

市には温泉を利用してリハビリを行っている病院もあります。相談員が皆さんにお会いした時、いつも感心する事は高齢者の皆さんの肌がきれいな事。それも温泉に関係があるのでしょうか。





# あやとり

発行：那須塩原市介護  
サービス相談機関  
「介護サービス相談室」  
発行日：2015年  
9月25日

あやとりは、介護サービス利用者と介護相談室を結ぶ季刊紙です。



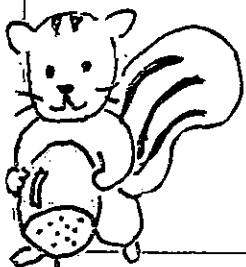
## 住み慣れた地域で暮らす

核家族化や共働き社会、高齢化に伴い老老介護や高齢者の独居世帯が増加し、高齢者を取り巻く環境は厳しさを増すばかりです。

高齢者が要介護状態になっても、出来る限り住み慣れた地域での生活を続けるために介護と医療の連携、高齢者サービスの充実、さらに地域全体で支える仕組みが求められています。

介護が必要な方から元気な方まで、全ての高齢者がいつまでも安心して笑顔で暮らして行けるよう、那須塩原市では高齢者福祉施策、及び介護保険事業の方向性を示す計画を策定し推進を図っています。

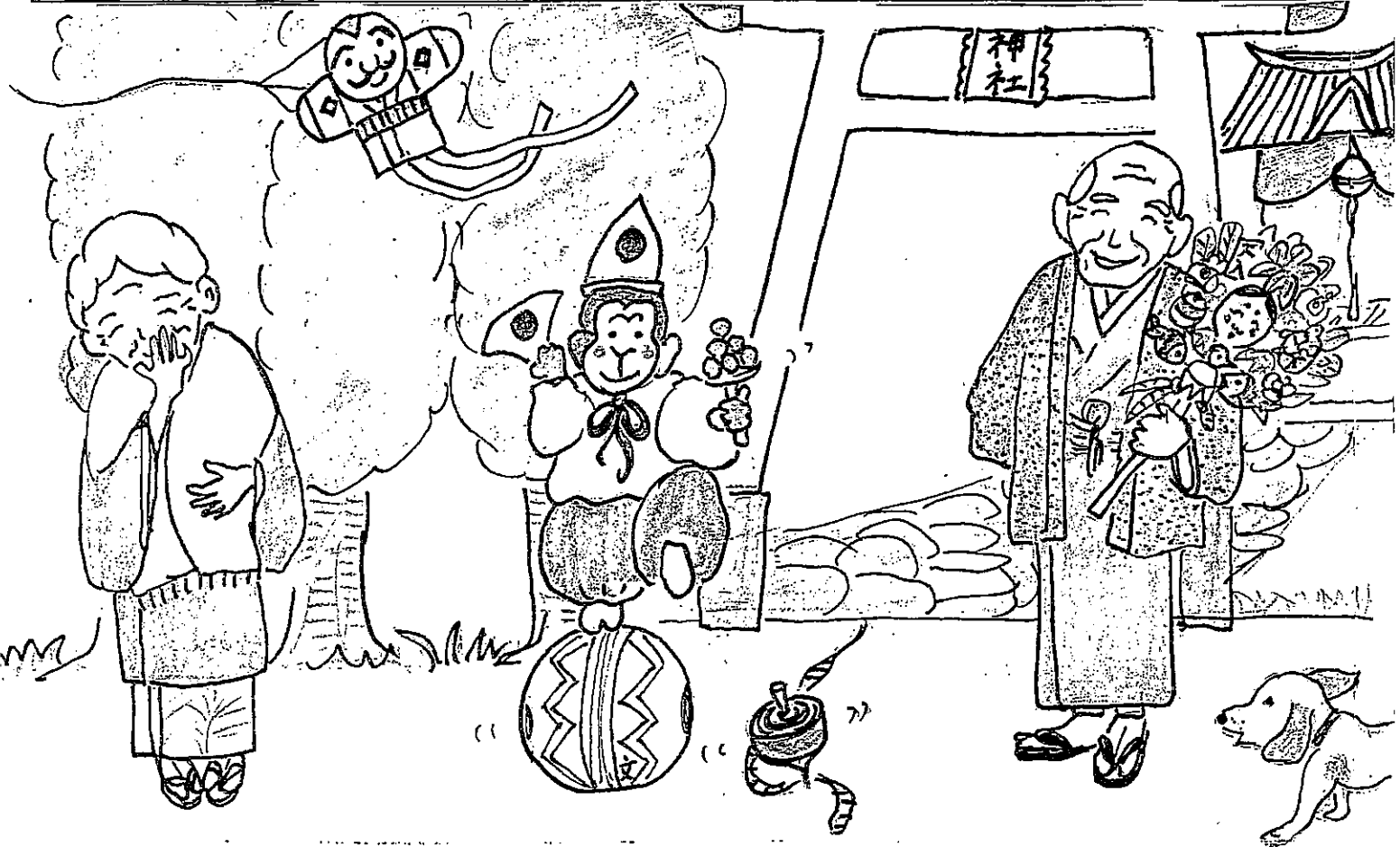
このまちで安心して暮らして行けるようにご近所や地域の皆で見守ろうと現在、各地域で見守り隊も誕生しています。



# あやとり

発行;那須塩原市介護  
サービス相談機関  
「介護サービス相談室」  
発行日:2015年  
12月25日

あやとりは、要介護認定者と介護相談室を結ぶ季刊紙です。



「あやとり」六十号に寄せて

要介護認定者の皆さんと介護相談室を結ぶ「あやとり」は、多くの皆様のお陰で、六十号発刊を迎えることが出来ました。

「あやとり」って子供の遊びだろうか?と利用者さんから、聞かれたことがありました。名前の由来は、利用者さんと相談員が同じ目線でやり取りができるようにと願って付けました。

介護保険制度に関する情報や、施設や自宅に訪問した時に、お伺いした楽しい事、頑張っている事、利用者さんやご家族の作品等も紹介しています。

「あやとり」届きましたよ!」「ためになりました!」「楽しみに待っていますよ!」と、直接声を掛けて頂いたり、電話で温かい言葉を伺うと、頑張ってきて良かったと思います。

これからも試行錯誤を重ね、皆さんに親しまれる「あやとり」作りを心掛けていきたいと思っておりますので、今後ともご協力よろしくお願い致します。